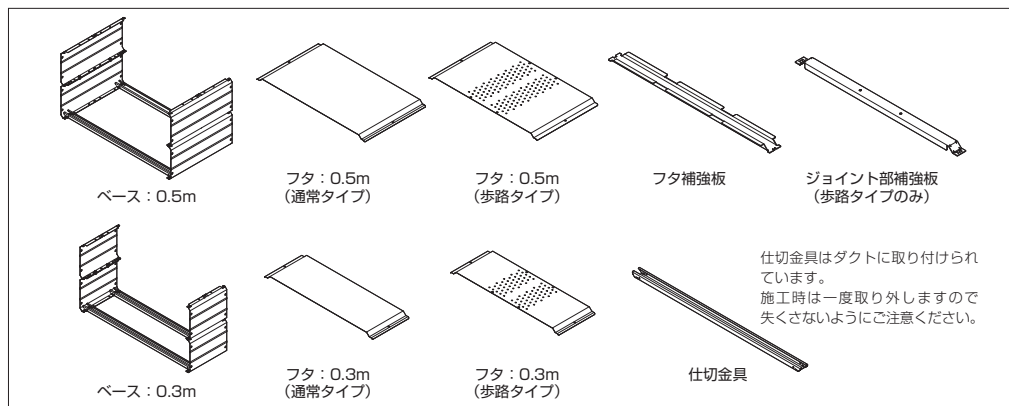


施工手順書

RDダクト(歩路用)

RD-900G-05 / RD-900G-03 / RDW-900G-05 / RDW-900G-03

■セット明細(各部名称)



セットビス明細

項目	部品名	材質	数量
ダクト接続用 ビスセット	セムス⊕六角 M6×15L	ステンレス	8
	フランジナット M6	ステンレス	8
フタ用ビス	セムス⊕六角 M6×15L	ステンレス	2

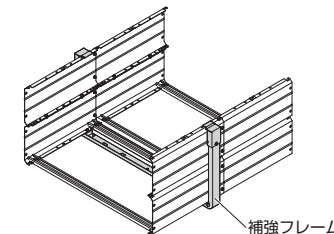
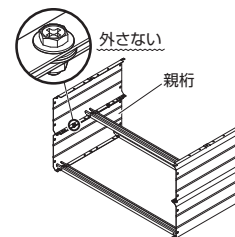
■セット仕様および補強板の取付け位置

	0.5m ダクト	0.3m ダクト
通常タイプ		
フタ補強板	2 本	2 本
歩路タイプ		
フタ補強板	2 本	1 本
ジョイント部補強板	1 本	1 本

■注意

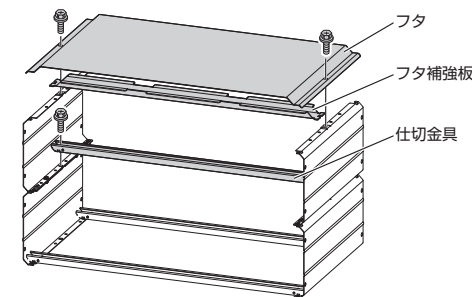
・ダクトベース親桁の上下段を締結しているビスは外さないでください。万が一緩んでいる場合は、締め付けてください。

・短いダクト同士を接続する場合は、ダクトベース親桁が不安定になることがあります。必要に応じて補強フレーム(別売)を取り付けてください。

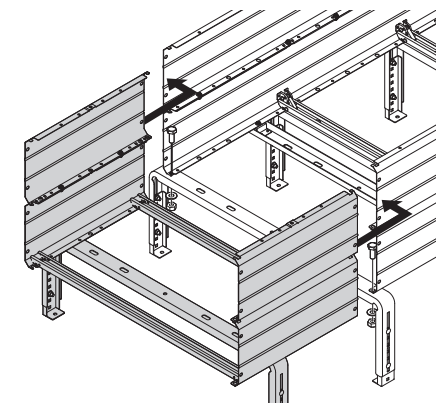
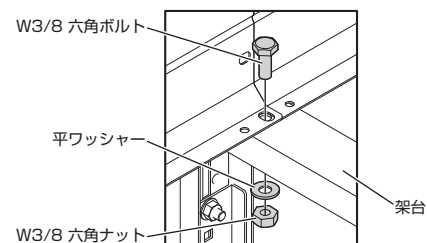


■施工手順

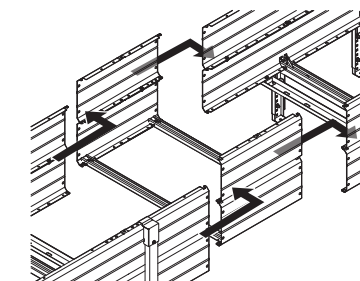
① フタ、フタ補強板と仕切金具を取り外します。



② 架台の上に仮設置し、ダクトベース親桁の端部同士が20mmずつ重なるようにはめ込み、ダクトベース親桁底面部の重なった部分をW3/8六角ボルトで架台に固定します。

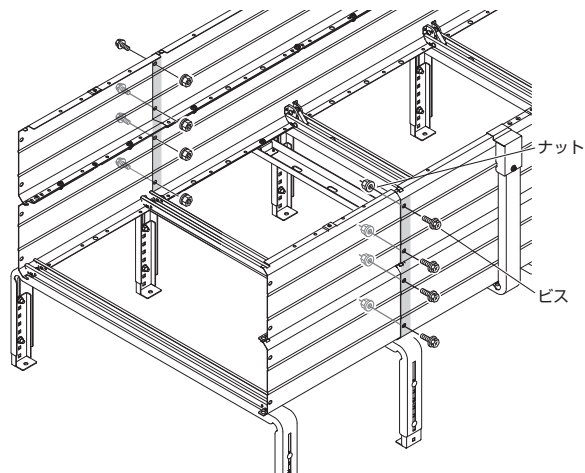


▶ここで、ダクトベース親桁の重ね方向を接続部ごとに交互にすることで、ダクトの直進性を確保できます。

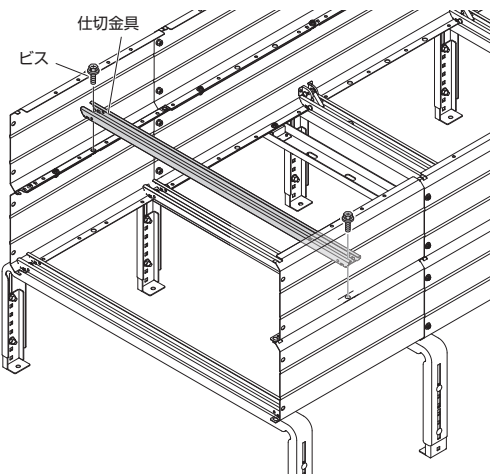


■施工手順

- ③ダクトベース親桁の端部の重なった側面部同士をビス止めします。



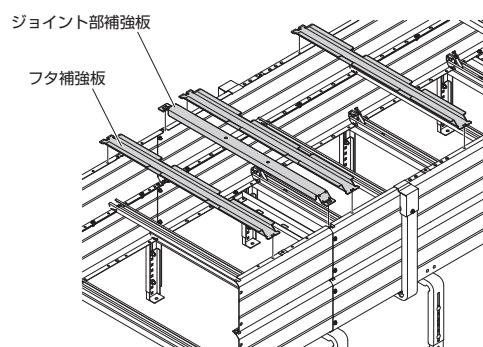
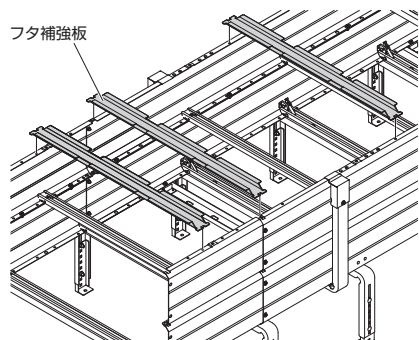
- ④1段分の配管を行った後、仕切金具を取り付けます。取付位置は下段のダクトベース子桁と同じ位置になります。あらかじめボルトが固定されていますので、取り外して金具を取り付けたあと、取り外したボルトで固定してください。



- ⑤上段の配管完了後、各補強板を取り付けます。取付位置は「セット仕様および補強板の取付け位置」を参照してください。接続部分のフタ補強板は、ジョイントレス接続およびフリージョイントを使用する場合に取り付けます。

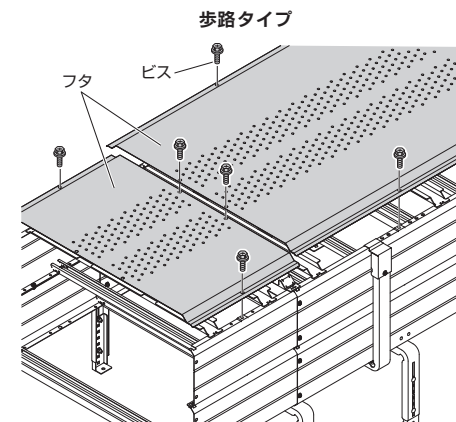
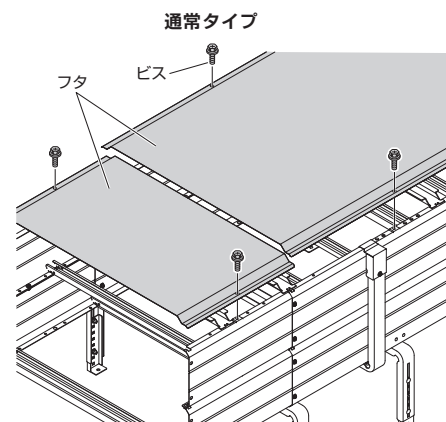
通常タイプ

歩路タイプ



■施工手順

- ⑥フタを20mm重ねて取り付けてビスで固定して完了です。



- ▶0.5mと0.3mのダクトは切断できませんが、2mや1mのダクトの切断を行った場合、フリージョイント(S/Hタイプ)のHタイプを2セット使用することで接続することが可能です。
- ▶歩路用の場合は、切断側のフタに接続用の穴(φ11)を開けて固定してください。穴位置は非切断側のフタを一度上に重ね、マーキングして位置出ししてください。

通常タイプ

歩路タイプ

